## サーキット・ライダー2002年 4月号

## 仰げば尊し、、、

だから、あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにしても、神の栄光を現す為にしなさい。 1 コリント 1 0 : 3 1 .

今年の復活祭はいつになく早く3月31日でした。アメリカ人の教会でも、日本語ミニストリーでも心から主の復活をお祝いできました。そのお蔭でという訳でもありませんが、私は4月に2週間お休みをいただき一時帰国することにしました。私の年代が高校卒業後25周年を迎えるので、これまで一度も出たことがなかった同窓会に出席してみようと思ったからです。アメリカでは高校や大学の同窓会(Reunion)は会社や仕事を休む格好の理由になります。特に20周年とか25周年ですと誰でも大手を振って休暇を貰えるのです。つくづく面白い国柄だなと思います。例年ですと4月はまだ苦難節、復活祭の真っ最中ですので、いつも同月に開催される高校の同窓会には出席できませんでした。正に今年は千載一遇の好機と言う訳です。

私は高校の頃、勉強は殆どせず、課外活動でフォークソング・クラブに属し、アメリカ・カレッジ・フォークの影響を受け、皆でシング・アウト(言わば合唱)をし、後は個人とかバンドで歌っていました。夕方からは目白にあった美術研究所に通いデッサンと油絵の習得に明け暮れていました。今考えても勉強もろくにせず良く高校を卒業できたなと思います。その反動でか罰でか、アメリカに来てからは22年の生活の半分以上が大学、神学校等の学生生活です。それでも懲りずに今年の9月からまた学校に行きます。自分でもこれほど勉強好きに何時からなったのだろうと呆れることもありますが、、、。

まあそれはさて置き、同窓会の話に戻ります。今回帰国にあったて、当時の「クラブ、学校の思い出」を同窓会誌に依頼されて執筆したところ、何を面白がられてか、同窓会で1時間の講演会を依頼されました。今までの私の生き方、アメリカにいて思うことを語って欲しいとのことだそうです。高校の頃は上述の通り、全く勉強をしていなかったし、よくサボって喫茶店に行ったり映画を観に行ったりと、ろくな生徒ではなかったので、何だか照れくさいというか、単にアメリカにいるから興味を持たれただけだろうと思い苦笑しています。しかしこれも「恩返し」と思いお引き受けしました。

あの頃、夢中になってやっていたギターの弾き語りや美術の勉強は、全く信仰によらず、自分の趣味、思い込みでやっていました。ただただ熱心ではありましたが。その後、アメリカに来て大学に入り、カレッジ・クリスチャン・フェローシップ、キャンパス・クルセード等の交わりに入り、初めてギターを持って讃美するクリスチャン・ミュージックの存在を知りました。同じ頃、日米合同教会のサマーキャンプに導かれカウンセラーとして奉仕をさせて頂くようになり、日本でも盛んに和風ゴスペル・ソング作りや讃美が繰り広げられていることを知りました。よもや教会や教会のプログラム等でギターを弾くなどとは夢にも思ったことはありませんでしたが、いつの間にかキャンプでのゴスペル讃美や集会での讃美の折に自分のギター演奏が用いられるようになり、神の不思議な御計画、導きを感じました。

美術にも同じことが言えます。とにかく、お定まりの進学受験、会社勤めが嫌で自分の道を探究すべく、またキリスト教(親元)から逃げる目的もあって没頭した美術でしたが、その後、神学校でキリスト教教育と結び付き、今ではそれが自分の専門となり研究を続けています。これから教会の指導者として立つ牧師候補生(神学生)や信徒の方々に美術を通して聖書の面白さ、絵画、彫刻に反映する神学、教会学を教授したり、絵を使って伝道教育ができる面白さを知ってもらいたいと願っています。私は美大の頃の専門は19世紀から20世紀にかけての近代美術で印象派以降の流れ、特に具象から抽象に移行していった作家達で、全く宗教画とは関りがありませんでした。それが何時の間にか、形を変え、ジャンルが広がり、教会の様々な折に自分の学んだ事が用いられています。嘗て自分勝手にやっていて、美術勉強に意味が見出せなかったのに、今や神の栄光の為、伝道の為ということで新たな意味を与えられました。

そう考えると私達の日常生活の中での色々な経験の一つ一つは、一見、信仰生活と無関係なようでも、何かしら信仰、教会生活に結び付いていると言えるのではないでしょうか。例え今は全く教会や信仰と関りないように見えても。そう考え、今回の同窓会でも自分の歩んできた道を証ししたいと思います。こんな不信仰な躓いてばかりの私でも神に守られてきた事を感謝し、神にそして御世話になった方々に恩返しをしたいと思います。「何をするにしても神の栄光を現すためにしなさい。」とパウロは教えていますが、私達の日々の生活でしている全ての事を神の栄光のために捧げたいものです。